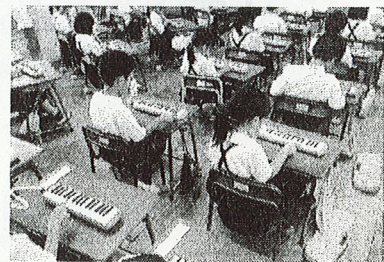


まずはドの位置、吹き方から・・・

～1年生「鍵盤ハーモニカ講習会」～

9月13日、1年生の「鍵盤ハーモニカ講習会」が開かれ、講師の先生から鍵盤ハーモニカの準備や吹き方、片付け方などを教わりました。いわゆる低学年の楽器を使った学習『器楽』の始まりです。学習の中でドの位置を教えてもらった後、強弱をつけたり、4拍子のリズムを刻んだりしながら吹いていました。

最後に、救急車や番組の曲など、先生の奏でるメロディーのクイズで楽しみました。



ニュースポーツを体験したよ

～6年生「小学校スポーツフェスタ」～

4年ぶりに開かれた福井市の連合体育的行事は、福井市小学校スポーツフェスタ（スポフェス）と名を変え、「競争」から「学び・体験」を重視した内容を行うことになりました。6年生は、9月21日午前の部に参加しました。

まず、速くなる走り方のコツを、実業団陸上競技チームの村田和哉さんに教えていただき、実際に400mトラックで練習をしました。次に、ニュースポーツ体験では、フライングディスクとスティックリングのどちらかを体験しました。歓声が上がると、ニュースポーツを楽しんでいました。



秋晴れのもと、歓声が響きました

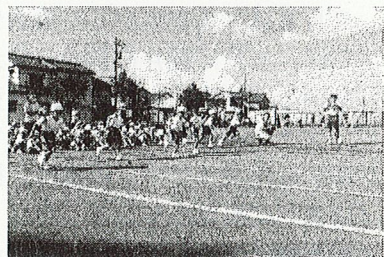
～令和5年度 秋季校内体育大会～

9月29日、「和っしょい、和っしょい、和田っ子 一番星目指せ！Four～」を大会スローガンに、校内体育大会が行われました。全校児童そろっての体育大会は4年ぶりです。熱中症対策やコロナ禍の経験から、午前中の開催、式典の簡素化、応援席での応援の充実等、新しい体育大会の形での開催となりました。

開会式の後、2年生の50m走からスタートしました。前半は徒競走や全員リレー中心に行われ、最後まで走りきる児童の姿が印象的でした。また、それに合わせて、各赤・黄・青・緑組のテントでは大きな応援の声が聞こえました。後半は学年種目がありました。1年生のダンス付きの玉入れはかわいらしかったです。また、3年生の綱取りは、色ごとの作戦が垣間見え、おもしろかったです。最後は、色別対抗リレーでした。児童が総立ちになるほどの盛り上がりでした。

今年の体育大会は、赤組が優勝しました。閉会式では、児童には、負けてくやしい気持ちは次へのエネルギーになることを伝え、勝っても負けてもノーサイド、お互いのがんばりを認めることの大切さを話しました。

保護者の皆様、温かく応援していただき、ありがとうございました。



校長室から

「自利利他 ～ありがとう、幸せの始まり～」

先日、全校朝礼の時、児童から私あての感謝の作文を読み上げた中で、「ありがとう」について話をしました。「ありがとう」の言葉は、仏教の教え「『人の生を享くるは難く、やがて死すべきもの。今、命あるは有り難し(有ることが難しい)』がもとになっています。今生きている私達は、数え切れない偶然と無数の先祖の計らいで生を受けて誕生したのだから、命の尊さに感謝して精一杯生きましょう。という教えから生まれた言葉で「滅多にないこと＝有り難きこと」に感謝することになったと言われています。

他人から何かしてもらったとき、私たちは自然に「ありがとう」と言います。他人からの気遣いに対する感謝の言葉です。「この世で最も不幸な人は感謝心のない人である」とも言われます。何をしてもらっても、当たり前と思い、感謝の心がなければ、不平不満ばかり出て、幸せを実感することはできません。感謝できる人が幸せなのであり、その感謝を「ありがとう」という言葉で表すと、相手も「喜んでもらえてよかった」とうれしくなります。

これを仏教では「自利利他(じりりた)」と言います。自利とは自分の幸せ、利他とは他人の幸せ。自分の幸せがそのまま他人の幸せになり、他人の幸せがそのまま自分の幸せになるということです。

相手が誰であっても、感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。「いつもありがとうございます」と。

